

平成27年度 学校図書館教育冬季研修会

一宮市学校図書館教育活用推進委員会

日時…平成27年12月25日（金）

場所…一宮地域文化広場

【午前の部】

「初等教育におけるビブリオバトルの活用」

講師：名古屋大学リーディング大学院推進機構本部

特任助教授 飯島 玲生 氏

【午後の部】

「ブックトーク」

講師：名古屋市楠図書館

図書館司書 大島 由美子 氏

【午前の部】



講義では、知的書評合戦とも言われるビブリオバトルについての紹介や公式ルール、ビブリオバトルの歴史などを詳しく教えていただいた。また、「全国大学ビブリオバトル2015～首都決戦～」の動画が紹介され、ビブリオバトルの実際の様子を楽しく知ることができた。講義の後には、ブラッシュアップワークとビブリオバトルの実践をした。

ビブリオバトルで大事にしているコンセプトは、
「本を通して人を知る 人を通して本を知る」です。

ブラッシュアップワークでは、参加者各自が持参したおすすめの本の「ジャンル」「登場人物」などのキーワードをそれぞれ付箋に書き出した。そして、ペアで、お互い

の本を紹介しあった。その後、グループで実際にビブリオバトルを体験した。

研修のまとめとして、学校でビブリオバトルを導入するにあたっては、位置づけや対象となる本、評価方法などの注意点があるものの、「本を選ぶ」→「本を読む」→「本を発表する」→「本を語る」というプロセスを可視化することができ、子どもの「話す力」の向上に有効であるというお話があった。

【午後の部】

実演（テーマ「平和」）を交えながら、ブックトークの目的や進め方を教えていただいた。

○ ブックトークをするにあたって

- ①対象…小学3年生以上
- ②人数…20～40人（本が見えることが前提）
- ③テーマを決める

紹介したい本からテーマを決めることもあり、タイトルをひとひねりすると楽しい。

④本を選ぶ

だいたい5～8冊。（30分～45分）内容も易しいものから難しいものまで幅広く選ぶ。

⑤構成を考える。

- ・本と本をテーマという糸でつなぐ。（どういう順序で、それぞれの本をどのように紹介するか）
- ・本の紹介方法をいろいろ組み合わせる。（本の味を損ねないようにすることが大切）

⑥ブックトーク実施のポイント

- ・紹介するページには付箋をつけておき、紹介した本は、後で読めるように用意する。

グループワークを行ったり、読み聞かせもあったりと実り多い内容で、講師の先生方に積極的に質問する姿も見られ、具体的な指導方法を学びたいという姿勢がひしひしと伝わってくる研修会だった。

